

第20回名古屋大学下宿用品リユース市

企画書

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

2015年1月30日

1, はじめに

近年、人々の環境に対する関心が高くなってきているように感じます。しかし、下宿している卒業生にとって、家電製品などを転居先へ搬送することは困難で、毎年、多くの家具が捨てられています。4年しか使用しておらず、捨てるにはもったいないと感じている下宿生も多いでしょう。「愛着をもって使ってきた家具たちを、新入生に使ってもらいたい」という提供者の声をよく聞きます。

家具たちに再出航の機会を創出するリユース市というイベントを通して、提供者の方にも来場者の方にも環境について考えていただければ幸いです。

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会 第20回代表 稲葉啓太

2, 名古屋大学下宿用品リユース市とは

名古屋大学下宿用品リユース市（以下、リユース市という）とは、卒業生や地域の方が使わなくなった家具、家電製品、日用品などを譲り受け、それらを主に下宿をする予定の新入生、下宿している在学生に提供するイベントです。リユース市は、名古屋大学環境サークル*Song Of Earth* のメンバーが中心となり、名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会を組織し、企画・運営を行っています。例年、下宿をする予定の新入生が参加しやすい3月下旬頃に名古屋大学内で開催し、2015年春で20回目を迎えます。

3, 目的・目標

目的：環境負荷軽減のために、下宿用品のリユースを推進する

目標：1. 提供者、来場者の家電・家具のリユースに対する意識を高める

2. 来年度以降リユース市を運営するスタッフの養成

名古屋大学下宿用品リユース市では、下宿用品のリユースを推進し、ごみの減量化を図り、環境負荷を軽減することを、目的として掲げています。

また、例年、リユース市という企画名で開催しておりますが、リユースの意義を知らせる機会がほとんどありません。第20回リユース市では、掲示等を通じてリユースに関する広報を行い、提供者、来場者の方とリユースについて考えることを目標とします。また、第20回のリユース市実行委員会のコアスタッフは主に4年生以上で構成されているため、来年度以降のリユース市を運営する1,2年生の養成を目標とします。

4, 企画の概要

名 称：第20回名古屋大学下宿用品リユース市

主催団体：名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

後 援：名古屋市（申請予定）、名古屋大学（申請予定）

開 催 日：2015年3月28日（土）

開 催 場 所：名古屋大学豊田講堂

開 催 規 模：想定物品提供者数50人、想定取扱物品数200品、想定来場者数400人、想定
当日スタッフ数 30人

想定来場者：下宿予定の名古屋大学新生、下宿中の在校生、地域住民の方々

提 供 物 品：大型家電製品、台所用家電、空調用機器、AV機器、寝具、机類、収納家具、
その他日用品など

提 供 方 法：抽選により引き取り手を決定する。物品は無償で提供する。

5, 前回の概要

名 称：第19回名古屋大学下宿用品リユース市

主催団体：名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

後 援：名古屋市、名古屋大学

目 的：環境負荷軽減のために、下宿用品のリユースを推進する

目 標：1. 来場者に環境の意識をもってもらう。

2. 来年度以降運営を行うスタッフの確保と育成。

開 催 日：2014年3月30日（日）

開催場所：名古屋大学豊田講堂

開催規模：物品提供者数64人、取扱物品数333品、来場者数306人、当日スタッフ数16
人

提供対象：下宿予定の名古屋大学新生、下宿中の在校生、地域住民の方々

提供物品：大型家電製品、台所用家電、空調用機器、AV機器、寝具、机類、収納家具、
その他日用品など

提供方法：抽選により引き取り手を決定する。物品無償で提供する。

6, 今までの実績

・名古屋大学総長顕彰

名古屋大学下宿用品リユース市は、平成15年度名古屋大学総長顕彰の「正課外活動への取り組み」部門における「その他（サークル活動）」分野で表彰されました。また、平成19年度名古屋大学総長顕彰の「正課外活動への取り組み」部門における「社会貢献活動」分野で表彰されました。環境負荷の少ない循環型社会の形成を理念とし、多くの参加者からの賛同を受けていることが評価されました。

・助成金

第10回から第12回、第14回の名古屋大学下宿用品リユース市は名古屋大学全学同窓会から助成金をいただきました。また、第13回のリユース市は財団法人学生サポートセンターから助成金を受けました。

・報道など

第16回リユース市では、中京テレビ、CBCテレビ

第17回リユース市では、NHK、名古屋テレビ、CBCラジオ、MID-FM761

第18回リユース市では、NHK

から取材を受け、回収活動や当日の様子が紹介されました。

7, 開催までのスケジュール

9月：開催日・開催場所決定

10月：目的・目標決定、回収日等決定

11月：回収日等決定

12月：回収告知広報、開催日マニュアル推敲

1月：HP開設, 回収活動準備、開催告知広報, 回収告知広報

2月：回収活動開始、開催告知広報

3月：回収活動、物品清掃と管理、開催準備、リユース市開催

4月：物品配送、反省会

8, 当日スケジュール

8:30	コアスタッフ集合	最終打ち合わせを行う。
9:00	お手伝いさん集合	
9:20	午前の担当別に説明、午前リハーサル	
10:00	開場、受付開始	来場者を入場させる。
11:15	入場受付終了	受付を終了する。
11:30	一旦閉場	来場者を全て外に出す。
11:50	抽選、設営開始	抽選開始。午後の設営も並行して行う。
12:20	抽選、設営終了	当選者のエントリーナンバーを会場入り口付近に掲載します。
13:00	午後の担当別に説明、午後リハーサル	
13:30	再開場	来場者を再入場させる。
14:00	残品セール	投票されなかった物品の引き取り手を、くじで決定する。
		これ以降運べるものから順次片付け開始
17:00	閉場	

9, 予算

物品は無償で提供し、運営費に対するカンパを募ります。

- ・支出の部の「運送費」は回収・配送時のレンタカー代と燃料費と駐車料金代です。
- ・支出の部の「スタッフ補助費」は回収日・開催日に外部からお手伝いに来ていただいた方の昼食代、開催日のスタッフの昼食代などです。

支出		予算	収入		予算
運送費	レンタカー費	80,000	運営カンパ	回収カンパ	50,000
	燃料代	10,000		当日カンパ	50,000
	駐車料金	4,500	配送料		15,000
消耗品費		30,000	利子		100
備品購入費		10,000	小計		115,100
通信費		10,200	前回繰越		470,887
印刷費		1,500	合計		585,987
スタッフ補助費		15,000			
HP 維持費		4,400			
保険料		8,000			
物品処分費		5,000			
広告宣伝費		1,000			
小計		179,600			
次回繰越		406,387			
合計		585,987			

11, 連絡先

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

第20回代表 稲葉啓太（名古屋大学大学院理学研究科博士課程前期1年）

電話番号：080-5162-4339

個人メールアドレス：tashibizebinto60071@gmail.com

リユース市実行委員会メールアドレス：reusemarket758@yahoo.co.jp